

三隅発電所 2号機建設変更計画 環境影響評価方法書のあらまし



三隅公園のつつじ

平成 28 年 3 月

中国電力株式会社

はじめに

平素より、当社の事業活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の三隅発電所は、当初1・2号機（各出力：70万kW，計：140万kW，燃種：石炭）として、昭和57年に当時の環境影響評価手続き（「発電所の立地に関する環境影響調査及び環境審査の強化について」（昭和52年通商産業省省議決定））を終了しています。

その後、中長期的な需給バランス、運用性等多方面からの検討により、平成5年に1号機出力を100万kW，2号機出力を40万kWに計画変更を行い、平成10年に1号機の営業運転を開始しましたが、電力需要の伸びの鈍化や低炭素社会実現に向けた対応など、当社を取り巻く状況の変化を踏まえ、2号機の着工を平成36年度以降、営業運転開始を平成39年度以降としていました。

当社は、経年火力発電所を多く保有しており、平成30年代半ばには運転開始後40年を超える経年火力発電所が500万kWに達するため、その代替電源の開発が不可欠な状況となっています。また、東日本大震災以降、原子力発電所が長期にわたり運転停止し、その代替として経年火力発電所の高稼働状態が続いており、平成30年代半ばに入るとさらに経年化が進行すると見込んでいます。

このような状況を踏まえ、電力の安定供給確保のため、2号機出力を100万kWへスケールアップし、着工年月を平成30年11月、運転開始年月を平成34年11月に前倒しして開発することを計画しています。燃種については、他の化石燃料に比べ資源量が豊富で地域偏在性が少なく、価格も低位で安定していること、1号機との設備の共用により効率的な運用が可能となることから、当初計画どおり、石炭としました。

2号機の計画にあたっては、石炭火力の発電方式において利用可能な最良の発電技術である超々臨界圧（USC）を採用し、二酸化炭素排出削減に努めるとともに、最新鋭の脱硝装置、脱硫装置、集じん装置を導入することにより、硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじんを削減し、環境負荷の低減を図ることとしています。



● 工事工程

工事年数	0	1	2	3	4	5			
工事月数	0	6	12	18	24	30	36	42	48
全体工程	着工 ▼								運転開始 ▼
土木建築工事		[Blue bar from month 6 to 48]							
設備据付工事			[Blue bar from month 12 to 42]						
試運転					[Blue bar from month 30 to 48]				

環境影響評価について

環境影響評価とは、環境に影響を及ぼすおそれがある事業について、その事業の着手前に、環境の現状を調査し、事業の環境への影響を予測及び評価して、その結果に基づき適正な環境配慮について検討を行うものです。

今回の環境影響評価方法書は、環境影響評価を行うために必要な対象事業の概要、対象事業実施区域周辺の状況及び環境影響評価を行う項目並びに調査、予測及び評価の手法について記載したものです。

● 対象事業実施区域及びその周囲の概況把握

自然的状況

大気環境、水環境、土壌及び地盤、地形及び地質、動植物、生態系、景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況について、既存の文献等を参考に現況を調査しました。

社会的状況

人口及び産業、土地利用、海域等の利用、交通、学校・病院・住宅等の配置、下水道の整備及び廃棄物の状況について、既存の文献等を参考に現況を調査しました。

また、環境保全を目的とした法令等による規制地域、規制基準についても状況を調査しました。

● 対象事業に係る環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目は、「発電所の設置又は変更の工事業に係る計画段階配慮事項の選定並びに当該計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の手法に関する指針、環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針並びに環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成10年通商産業省令第54号）に基づき、対象事業の特性と対象事業実施区域及びその周辺の地域特性を勘案して、右表のとおりとしました。

● 調査・予測の手法

発電所建設等の工事や運転によって影響が予想される大気や水質等について、文献調査及び現地調査により現況を把握したのち、数値計算等により影響を予測し、環境保全に対して配慮すべき事項を検討します。

● 評価の手法

調査及び予測の結果を踏まえ、環境影響が実行可能な範囲内で回避又は低減されているか、環境保全についての配慮が適正になされているかを検討し評価します。

また、国や地方自治体によって、環境基準や環境保全上の規制基準等の環境保全施策が示されている場合には、それらとの整合が図られているかを検討し評価します。

環境影響評価項目の選定表

影響要因の区分 環境要素の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用							
				工 事 用 資 材 等 の 搬 出 入	建 設 機 械 の 稼 働	造 成 等 の 施 工 に よ る 一 時 的 な 影 響	地 形 改 変 及 び 施 設 の 存 在	施設の稼働				資 材 等 の 搬 出 入	廃 棄 物 の 発 生	
								排 ガ ス	排 水	温 排 水	機 械 等 の 稼 働			
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査, 予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	硫黄酸化物					○						
			窒素酸化物	○	○			○				○		
			浮遊粒子状物質					○						
			石炭粉じん											
			粉じん等	○	○		○						○	
			重金属等の微量物質					○						
	騒音	騒音	騒音	○	○						○	○		
			振動	○	○						○	○		
			その他								○			
	水環境	水質	水の汚れ						○					
			富栄養化											
			水の濁り			○								
			水温							○				
		底質	有害物質											
その他			流向及び流速							○				
その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質												
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査, 予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地 (海域に生息するものを除く。)			○	○								
		海域に生息する動物							○					
	植物	重要な種及び重要な群落 (海域に生育するものを除く。)			○	○								
		海域に生育する植物							○					
	生態系	地域を特徴づける生態系			○	○								
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査, 予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○								
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○								○			
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	産業廃棄物			○							○		
		残土			○									
	温室効果ガス等	二酸化炭素					○							

注：1. 「 」は「発電所アセス省令」にある参考項目であることを示します。

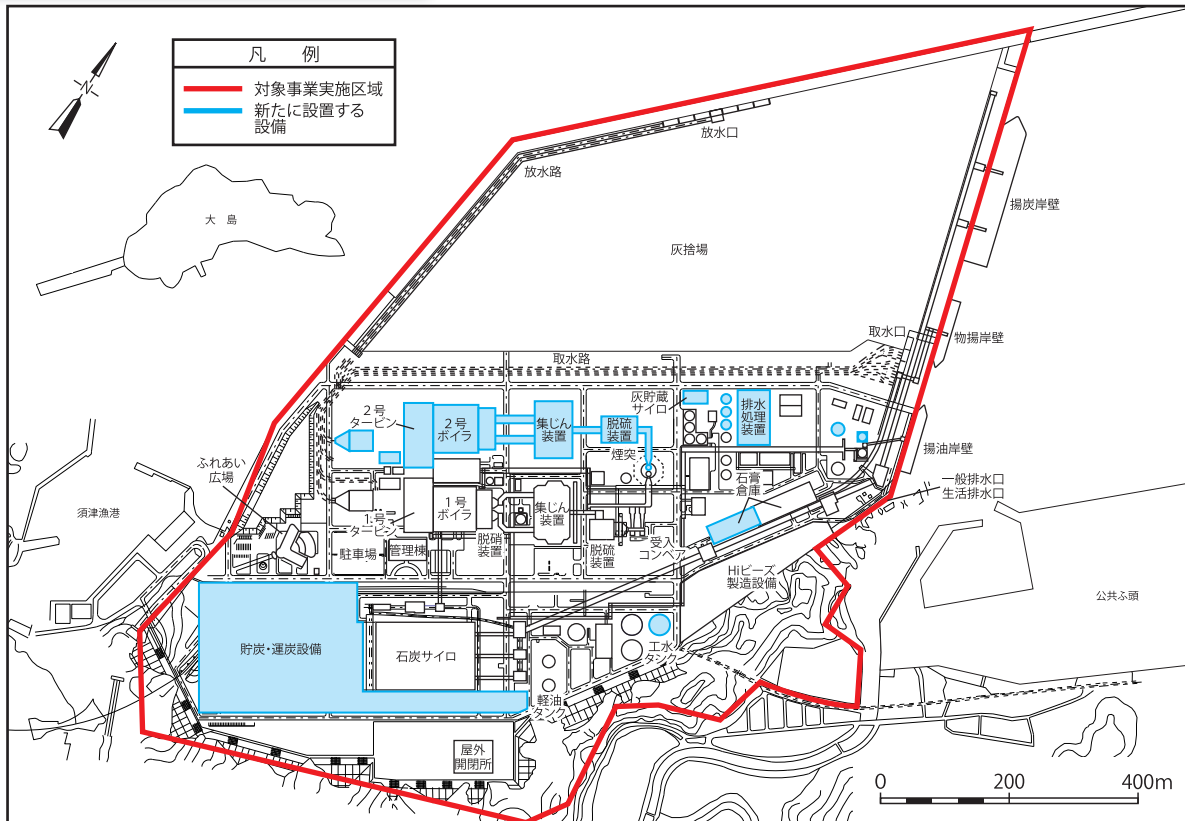
2. 「○」は、環境影響評価の項目として選定する項目を示します。

対象事業の概要

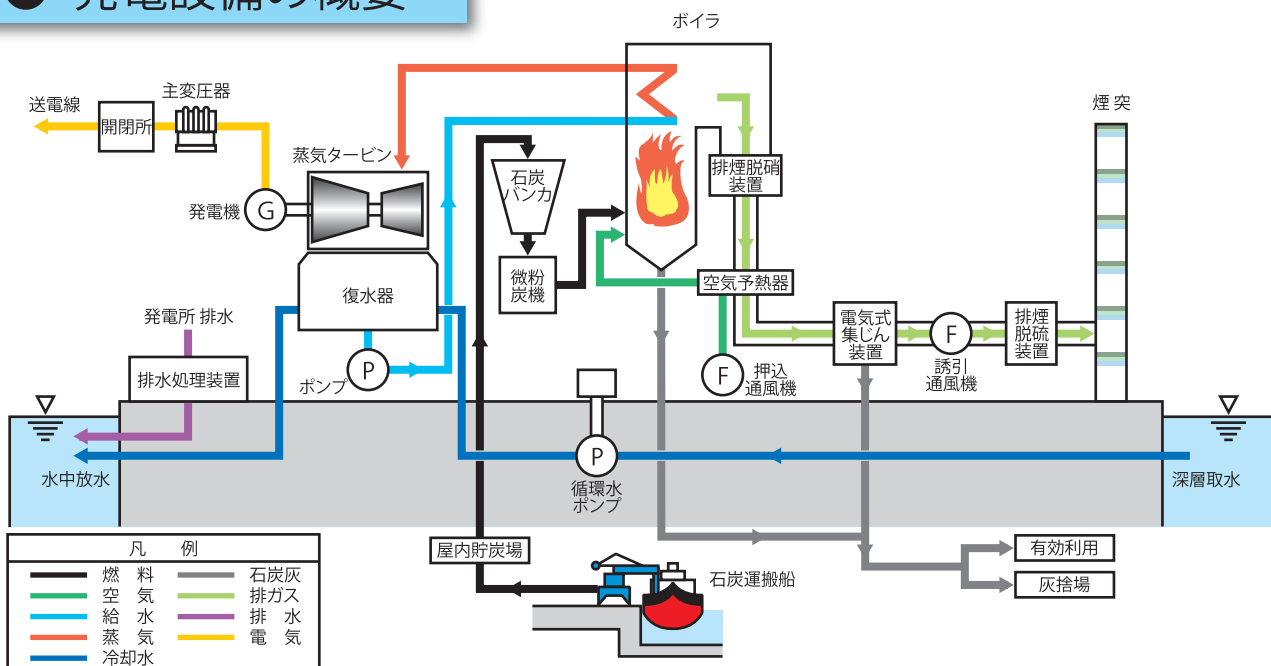
● 対象事業の内容

名称	三隅発電所2号機建設変更計画	出力	100万kW
所在地	島根県浜田市三隅町岡見1810	燃料	石炭
原動力の種類	汽力	運転開始時期	平成34年11月(予定)

● 配置計画の概要



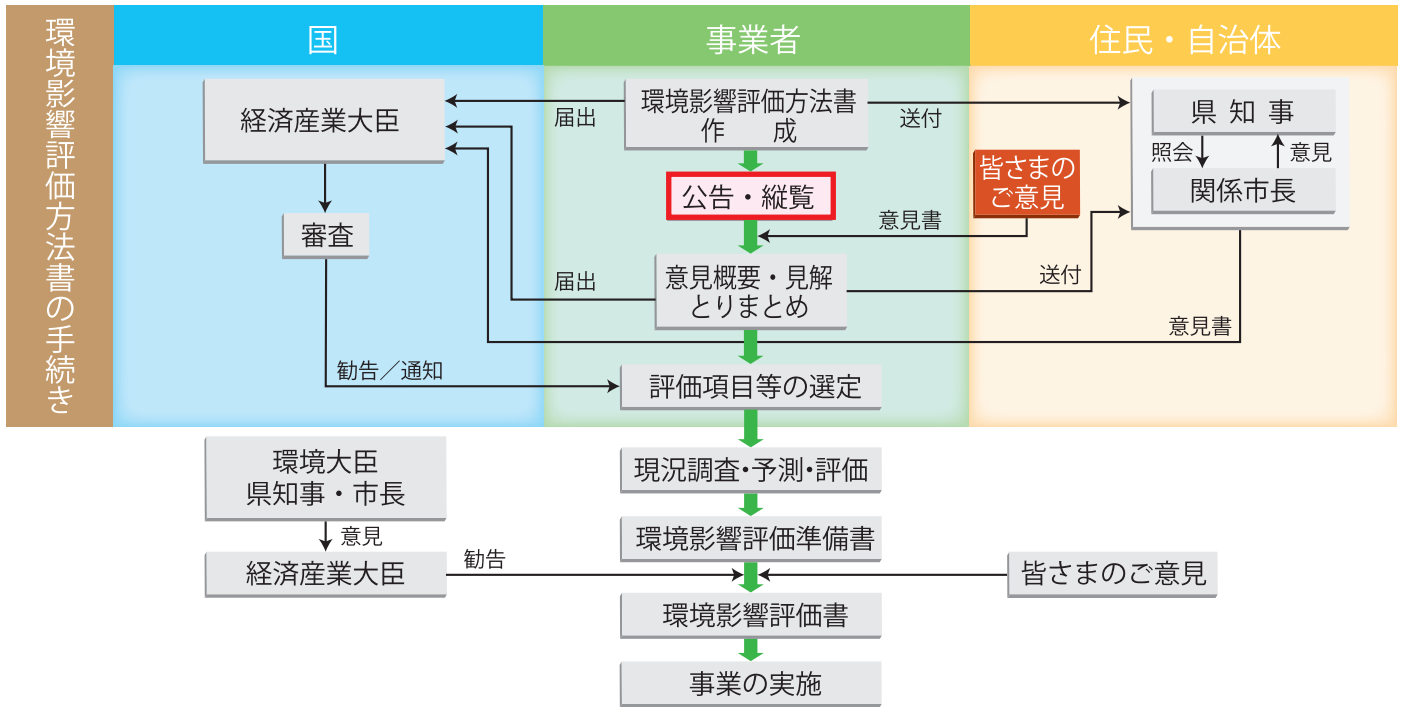
● 発電設備の概要



参考

● 環境影響評価手続きの流れ

法律に基づく環境影響評価の手続きは次のとおりであり、今回の「環境影響評価方法書」の縦覧は、赤枠の段階のものです。今後、皆さまのご意見をお聞きした上で調査・予測・評価を行い、その結果を「環境影響評価準備書」として作成・縦覧し、法律に基づく審査を経て、「環境影響評価書」として取りまとめることとなります。



● 方法書の縦覧について

縦覧場所		縦覧期間	縦覧時間	備考
自治体施設	島根県環境生活部環境政策課	平成28年 3月11日(金) ～ 平成28年 4月11日(月)	午前9時 ～ 午後5時	土曜日、日曜日、祝日は除きます。
	浜田市役所			
	三隅支所			
	弥栄支所			
	金城支所			
	益田市市民学習センター			
	ふれあいホールみと			
匹見タウンホール				
当社施設	三隅発電所ふれあいホール		午前9時30分 ～ 午後5時	休館日(月曜日、祝日の場合は翌日)は除き、4月25日(月)は開館します。

当社施設では、縦覧期間終了後も平成28年4月25日(月)まで、ご覧いただけます。
当社ホームページ (<http://www.energia.co.jp/>) でもご覧になれます。(期間：平成28年3月11日(金)～4月25日(月))

環境保全の見地からご意見をお持ちの方は、縦覧場所で備え付けの意見書箱にご投函くださるか、平成28年4月25日(月) [当日消印有効]までに意見書を中国電力株式会社電源事業本部環境グループまでお寄せください。

環境影響評価方法書に関するお問い合わせ先

中国電力株式会社 電源事業本部 環境グループ
〒730-8701 広島市中区小町4-33
TEL 082-243-6713 FAX 082-504-7006



古紙・ハルブ配合率100%再生紙を使用



ベジタブルオイルインキ